

## 専門的緩和ケアへのアプローチに関する論点(案)

○第5回緩和ケア推進検討会にて、「緩和ケアチームにおける各職種の適正配置」を議論するにあたり、拠点病院に求められる専門的緩和ケアの機能の観点から、その機能を果たす為に必要な組織・人材を検討するため、「専門的緩和ケアの提供にあたり、求められる機能」及び「その機能を担う組織と職種」に関し、各構成員に対する意見調査を行った。



○意見調査の結果から、「専門的緩和ケアに求められる機能」としては、「院内の緩和困難な症状や相談支援等、患者・家族等への対応」の他、「院内でのチーム連携」、「地域における連携」等に関する機能が多く挙げられた。

○また、これらの機能を果たすため、「院内の緩和ケアを統括する組織」を設置する必要性や、看護師を基軸とした「多職種連携によるチーム医療」や「スクリーニングした苦痛の評価分析体制」等の必要性に関する指摘があった。



(「院内におけるアクセスの問題」や「地域での連携の問題」も踏まえ)

○がん診療連携拠点病院の指定要件(参考資料6)に以下の観点を追加することを検討してはどうか。

- ・平日日中は緩和ケアチームに常にアクセスできる環境を整える  
(専従看護師が専門的緩和ケアに従事する時間の拡大)
- ・院内の緩和ケアを統括する組織の位置づけを明確にする  
(緩和ケア委員会等の設置)
- ・院内の緩和ケア提供体制の実態把握と評価・改善の仕組みを確保する  
(業務・成果の可視化)
- ・地域の診療所等の関係者との定期的な協議の場を設置する  
(顔の見える地域連携)